

平成20年度

# 施設評価調書

施設の名称.....寝姿山自然公園

所管担当課.....産業振興課

平成20年7月

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市寝姿山自然公園	番号	83
--------	----------	------------	----	----

## 施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市寝姿山自然公園		2 担当課 担当係	産業振興課 施設整備係		
3 所在地	下田市柿崎字三笠山 1279 番地の 1		4 設置年月	平成 2 年 4 月 1 日		
5 総合計画の 位置付け	ヒト・モノ・コト の豊かな交流づくり		身近な生活環境づくり		公園	
	施 策 体 系		自然公園の整備		自然公園の整備 自然とふれあう場の整備	
	主 要 事 業		寝姿山自然公園整備事業		寝姿山自然公園の整備	
6 設置目的	市民の健全な憩いの場として、寝姿山のすぐれた自然環境を活用するため					
7 設置根拠	下田市寝姿山自然公園設置管理条例					
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 130,000 m <sup>2</sup>				
		駐車場 遊歩道 自然公園				
	実施事業 の概要	平成 18 年度事業概要 園内の修景整備・下刈りの実施 担当課は総務課施設係				
		料金体系	料金 区分	無料利用施設		
			主な 料金			
			減免内容			
			利用料金制度	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
	使用制限	(遵守事項) 第3条 入園者は、自然公園内において、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。 (1) 樹木等を伐採し、又は植物を採取しないこと。 (2) 土石を採取し、又は土地の形状を変更しないこと。 (3) 鳥獣類を捕獲し、又は危害を加えないこと。 (4) 火気を使用しないこと。 (5) 施設等を損傷しないこと。 (6) 指定された場所以外へ車を乗り入れ、又は駐車しないこと。 (7) 他人に迷惑又は危害を及ぼすおそれのある行為をしないこと。 (8) 営利又はこれに類する行為をしないこと。 (9) 前各号に掲げるもののほか、市長の指示に従うこと。				
施設運営 方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営				
	指定管理者制度	指定管理者				
		一部委託	委託内容			
		平成 15 年 9 月に地方自治法の一部が改正により、本施設の管理運営を管理委託制度から直営方式へ移行のため管理条例の改正を行った。平成 17 年 9 月議会				
直接従事職員	下田市職員数 平成 19 年度 総務課施設係 1 人 臨時職員 1 人(総務課施設係) 委託団体職員数					
9 市内の 類似施設	下田市所有	都市公園 9 施設、爪木崎自然公園				
	民間所有					

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市寝姿山自然公園	番号	83
--------	----------	------------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成19年度末残高		(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格ゼロ ・耐用年数 年	
	土地取得費		土地残高			
	建物取得費		建物減価償却後残高			
	財源内訳					
	国・県支出金					
	市債		市債残高	0		
	一般財源					
	寄附金等					
	物品(*万円以上)		物品減価償却後残高			
	建設事業費	年度別事業費	財源内訳			
	昭和61年度 8,500千円	県費補助金	41,200千円			
	昭和62年度 25,000千円	下田市負担金	43,770千円			
	昭和63年度 39,500千円	受益者分担金	18,030千円			
	平成01年度 30,000千円					
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H17年度決算	H18年度決算	H19年度決算	H20年度予算
	収入		-	-	-	-
	収入合計		-	-	-	-
	支出	7節 賃金	1,248,000	2,406,600	2,389,800	2,389,800
		11節 需用費	188,579	0	0	0
		消耗品費	135,148	0	0	0
		燃料費	40,128	0	0	0
		修繕料	13,303	0	0	0
		12節 役務費	0	0	40,640	170,000
		13節 委託料	930,300	0	0	0
		16節 原材料費	36,750	0	0	50,000
	支出合計		2,403,629	2,406,600	2,430,640	2,519,800
	減価償却費					
	市債利子					
	下田市負担年間総経費		2,403,629	2,406,600	2,430,640	2,519,800
備考	人件費は、実額を算出記載(正職員・嘱託職員等の人件費総額)					
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H17年度決算	H18年度決算	H19年度決算	H20年度予算
		利用者数	3,600人	3,600人	3,600人	人
		参考:利用単位当たり市負担額	667円/人	669円/人	675円/人	円/人
	算出方法:11欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数					
	休園日					
使用時間						
13 利用者満足度調査	実施の有無	有	無	調査結果		
	直近の実施時期					
	調査手法					
	調査数					

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市寝姿山自然公園	番号	83
--------	----------	------------	----	----

## 業績評価

### 1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
	利用者数の目標値					
	" の実績					
	目標達成度					
選択した指標	成果指標					
	成果指標の代替指標					
指標選択の理由	<p>目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由</p> <p>すぐれた自然環境の活用を計ることが困難であり、利用者数を代替指標とすることが適切と考えられるが、本公園は無料施設であり、使用届の提出を必要としない自由使用施設となっているため、現在指標とすべき統計数値がない。</p>					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標					
	代替指標	自由利用者数 イベント企画利用者数	現在の利用者数 イベント参加数とその効果による増数			

(参考)

活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標)

活動指標			区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
活動指標	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							
活動指標	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							
活動指標	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							

平成20年度

施設名(愛称名) 下田市寝姿山自然公園

番号 83

## 2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
	施設の総利用者数等	(統計数値なし)	人	-	-	-	-
	年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	2,403,629	2,406,600	2,430,640	2,519,800
	利用単位当たり経費	÷	円/人	-	-	-	-
総利用者数等の考え方 施設の総利用総数等について用いた指標について記載してください。	総利用者数と年間にかかる経費の割合を比較することで効率性を計ることができる。 しかし、当施設は利用者に対する統計的な数値がなく、年間経費での比較が唯一の指標となる。		備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。				

その他の指標		区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
目標指数	目標指数の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					
目標指数	目標指数の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					
目標指数	目標指数の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H17年度	H18年度	H19年度
	有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	円			
	受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	円			
	受益者負担比率	÷	%			
	補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	円			
	補正受益者負担比率	÷	%			

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市寝姿山自然公園	番号	83
--------	----------	------------	----	----

### 施設の現状分析

判断視点		項目	施設の状況
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	市民の健全な憩いの場として、寝姿山のすぐれた自然環境が活用されている。
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	寝姿山公園や林道での散歩など利用において福祉の向上に寄与している。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めているか	自然環境に対する幅広い市民ニーズに応えるため、今後も本施設を現状まま維持していくことが住民から期待されていると考える。
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどのようなものか	自然公園であるため、構築物は多くないため、修繕計画は作成していない。現状を維持するため、小規模な修繕はその都度必要である。
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	不法投棄が多い・・・監視員による管理要 今後啓蒙活動によりより多くの利用客が見込まれるよう検討要。
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	爪木崎自然公園があるが設置場所が異なるため競合はしない。
		民間においても十分可能な施設なのか	本自然公園は自然散策等が主流の無料施設であるため、民間の経営は成り立たない。
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうか	使用料等なし
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうか	自然公園からの眺望は素晴らしい。林道の未舗装等施設整備状況の評価が分かる。
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いはどうか	利用者数の調査を行っていない。
施設の耐用年数は何年有るのか		建築物がないため耐用年数はない。	
施設の今後の維持経費の算定はどうか		小規模の修繕費は必要である。	
行政規模からの判断視点	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	寝姿山の自然公園維持として妥当である。
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	適切
	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	地域バランスを考慮して設置する施設ではない。
	施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	都市公園とは施設整備内容が異なるため都市公園施設との統合は不可能。
		老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	改築廃止は必要なし
		地域、民間に譲渡できないのか	無料施設であり収入がないため地域や民間での運営は難しい。継続して目的を達成するには市の補助が必要。
		施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	本施設設置箇所は市有地ではないため目的を拡大してまで継続していく必要性がない。
その他			

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市寝姿山自然公園	番号	83
--------	----------	------------	----	----

## 見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	第3次下田市総合計画の中で謳われている、市民が憩い、くつろぐために整備された公園です。豊かな自然を生かし、「自然と人」が気軽にふれあえる場として今後も関与が必要である。
	受益者負担の妥当性	無料施設であり、維持経費の負担も多くない。 気軽にふれあう場ではあるが、市民のコミュニティ活動の場として利用を図りそこから収入を生み出すことも今後検討していく必要がある。
	実施主体の妥当性	林道の管理と一体的な管理が必要であり、下田市が管理運営を行っていく必要性は強いと考えている。 今までの管理形態は、市職員と臨時職員によって成り立っている。基本的には、今後も継承していきたい。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	管理運営は、市職員と臨時職員で行っている。 今後は、地域連携を進め管理運営と公園の利活用と活性化を図りたい。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	下田ロープウエーと連携を図り、市民の利用と観光利用に貢献していきたい。
	執行方法の見直しなどの効率化のための目標及び方策	現在臨時職員による管理が適切に行われている。当分の間は、現行のままの管理運営を進めていく。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	自然を利用した公園であり、受益者負担をお願いしていく施設でない。受益者負担として金銭負担、人的負担の協力が得られるか検討していきたい。
調査等	アンケート調査等の結果	未実施
	サービス面等	サービスの迅速性や利便性など 利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法

## 平成19年度事業内容及び見直し事項

事業内容	
見直し事項	

平成20年度	施設名(愛称名) 下田市寝姿山自然公園	番号 83
--------	---------------------	-------

**施設懸案事項**

No.	懸案事項	改善経費	備考
1	園内林道の整備	未調査	凹凸が多く雨天時危険
2	園内遊歩道・ベンチ等の整備	未調査	歩道幅確保
3	園内草刈	未調査	年3~4回実施
4	園内花園整備	未調査	四季の花園
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

**今後の方向性**

今後の方向性	充実 効率化等による見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続等 縮小等による見直し 統廃合を進める	(具体的な内容) 市民の健全な憩いの場として、寝姿山のすぐれた自然環境を活用するため、現在の自然環境を保護・管理していく。
--------	--	--